

市営バスの取り組み

■ バイオディーゼル燃料

環境にやさしい燃料として注目されている、使用済み天ぷら油を精製したバイオディーゼル燃料100%を使用した市営バスの運行をしています。

平成24年4月4日から試験運行を開始し、同年7月5日から1台を本格運行開始しました。平成24年12月、平成25年7月、平成26年9月に各1台を追加し、現在は4台の運行をしています。



■ ソーラー発電式LED照明

市営バスでは、「ソーラー発電式LED照明」をバス停に設置しています。この照明は、太陽光で発電した電気で蓄電池を充電し、夜間の照明に利用するものです。

バス停や時刻表の見えにくさを改善するため、現在市内に13箇所設置しています。

環境にやさしい照明は、バス運行後も点灯しているので防犯灯の役割も持っています。



電気自動車の普及促進

走行時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しない、環境にやさしい電気自動車の航続距離を伸ばす充電環境の整備を行っています。

■ 電気自動車用急速充電設備の設置

平成26年度は、配置バランスを踏まえ、次の4施設に24時間利用可能な急速充電器設備を設置しました。

- ・富士支所
- ・道の駅大和そよかぜ館
- ・諸富文化体育館
- ・久保田特産物直売所味らん館

(平成27年4月～供用開始。ご利用には、急速充電器用カードか、充電器利用の会員登録が必要です)



■ 電気自動車用急速充電設備の供用

「三瀬温泉やまびこの湯」に設置している充電設備について維持管理し、24時間の供用を行っています。

(現金のみのご利用 利用料1回500円。上限時間は30分。)

